

## 日文研図書館所蔵資料紹介 日文研と桜

著者	国際日本文化研究センター 資料課資料利用係
発行年	2020-02-25
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1368/00007434/">http://id.nii.ac.jp/1368/00007434/</a>

# 日文研図書館所蔵資料紹介

## 日文研と桜

古来より人々に愛されてきた桜。

日文研でも毎年満開になり春の訪れを実感させてくれます。

今回は桜に関する資料や研究を集めてみました。

普段目にすることの少ない資料もあります。

ぜひゆっくりとご覧ください。



国際日本文化研究センター

資料課資料利用係

2020.2.25

## 花見①絵はがき

古来より花を愛でる文化はありましたが、現在のように桜の下で大勢の人々が楽しむ姿は、享保・将軍吉宗の頃から一般的になりました。その後、江戸時代に改良された桜の多くが絶滅の危機を迎えましたが、1886年の荒川堤補修時に植えられたさまざまな種類のサトザクラが、今も残っています。



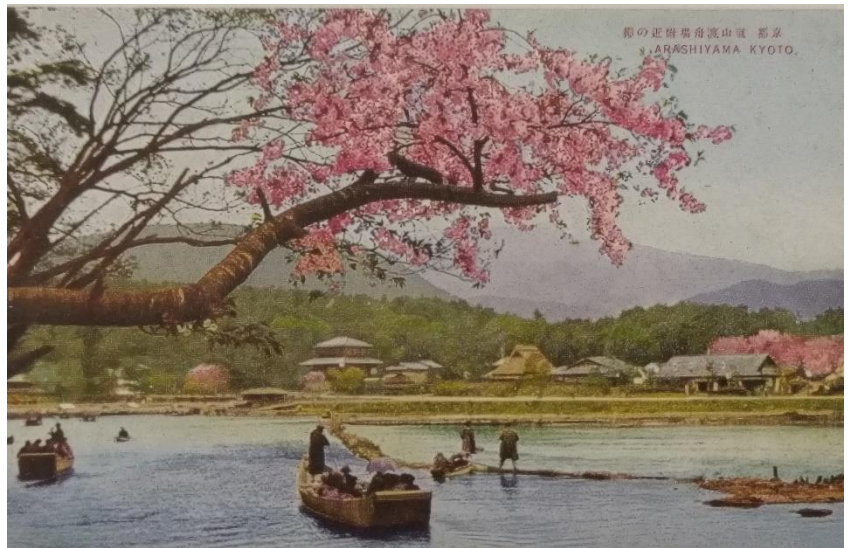
*Dobutsuen Kyoto.*

京都動物園内の桜花

リスト番号1

[絵葉書帳：日本の桜]；1

京都 動物園内の桜花



京都嵐山渡舟場附近の桜  
ARASHIYAMA KYOTO.

リスト番号2

[絵葉書帳：日本の桜]；1

京都 嵐山渡舟場附近の桜



CHERRY-TREES AT ARAKAWAZUTSUMI 桜の堤川荒 (所名の花)

リスト番号3

[絵葉書帳：日本の桜]；2

(花の名所)荒川堤の桜



## 花見①絵はがき



櫻の川治加 堤長の里萬 「る誇に界世」

リスト番号4

[絵葉書帳：日本の桜]；4

〔世界に誇る〕万里の長堤 加治川の櫻

リスト番号5

[絵葉書帳：日本の桜]；4

[花見の様子]



Cherry blossoms at Omuro Kyoto 花櫻の室御 (内之原百勝名東)

リスト番号6

[絵葉書帳：日本の桜]；4

(京名勝百景之内) 御室の櫻花



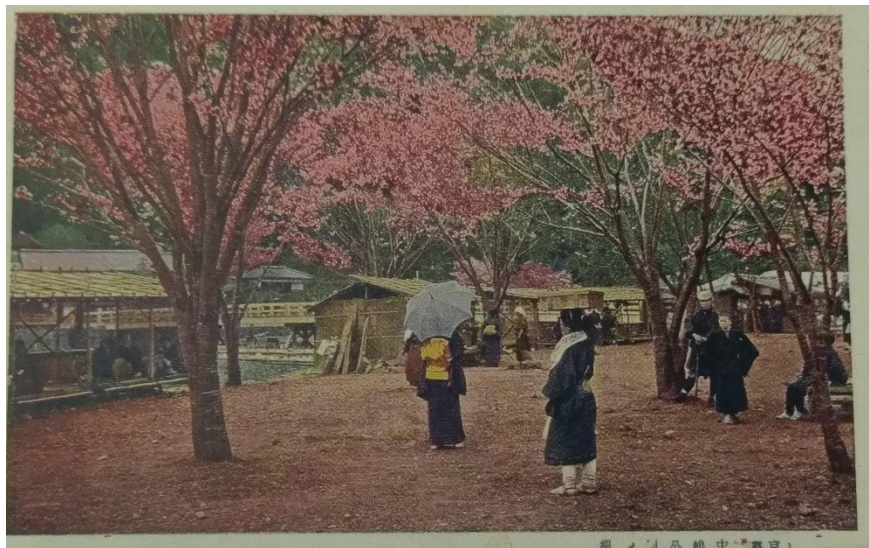
## 花見①絵はがき



リスト番号7

[絵葉書帳：日本の桜]；4

(東都の櫻) 小金井



リスト番号8

[絵葉書帳：日本の桜]；4

(京都) 中嶋公園ノ桜



リスト番号9

[絵葉書帳：日本の桜]；4

(東都の櫻) 飛鳥山



## 花見②外像・古写真

日本文化について書かれた「外書」には日本人の花見の様子や説明も見られます。

1879(明治12)年4月6日のベルツの日記に向島の花見に関する記述があります。



PICNICKING UNDER THE CHERRY-BLOSSOM IN KIOTO.

The family is a middle-class one. Tea is of course included; also, no doubt, sweet rice-cakes, for the Japanese has a sweet tooth.

リスト番号10

『Things seen in Japan』(Clive Holland, 1903)

京都の桜の下でのピクニック

“京都で桜の花の下でのピクニック。家族は中流階級である。茶はもちろん付き物である;また疑いもなく甘い餅も、なぜなら日本人は甘い物好きであるから”



リスト番号11

横浜写真アルバム

[桜・人力車に乗った女たち]



Rambles under the Cherry Trees.

リスト番号12

『The hanami (flower-picnic)』(K. Ogawa, S. Takashima, 1897)

桜の下のそぞろ歩き



Promenade Under the Cherry Blossoms.

リスト番号13

『The hanami (flower-picnic)』  
(K. Ogawa, S. Takashima,  
1897)

桜の花の下の散歩



"THE THOUSAND PETALS OF CHERRY BLOSSOMS WERE FALLING  
ABOUT THEM."

リスト番号14

『A Japanese nightingale』(Onoto Watanna,  
Genjiro Yeto, 1901)

"The thousand petals of cherry blossoms  
were falling about them."



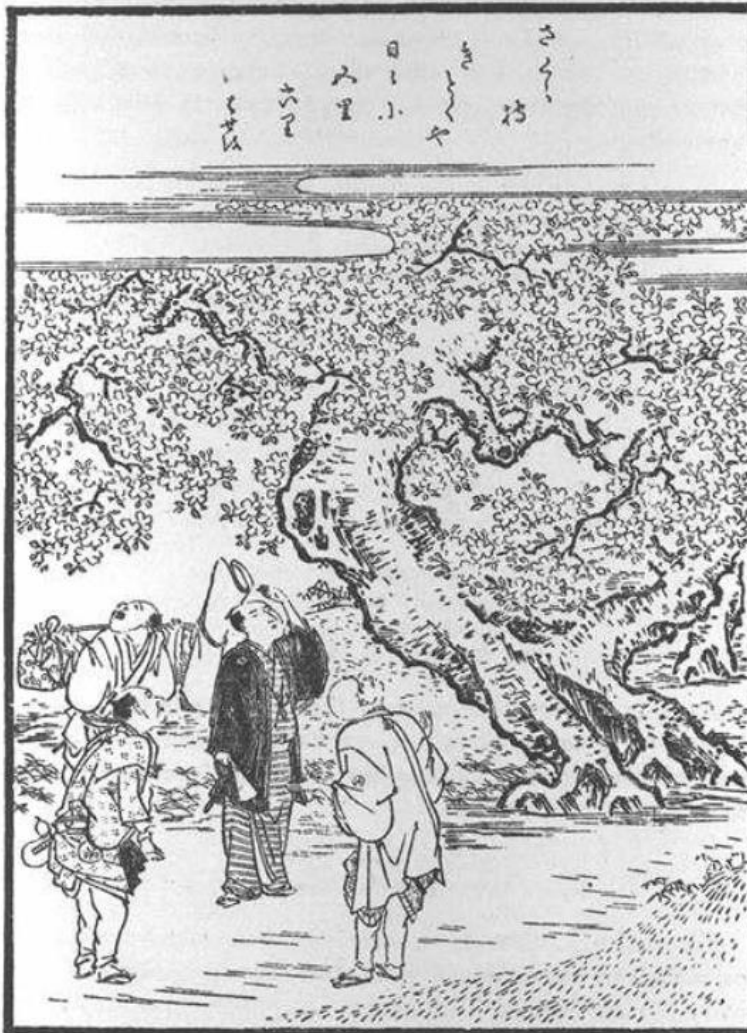
IN CHERRY-BLOSSOM-TIME.

リスト番号15

『Queer things about Japan』(Douglas  
Sladen, 1903)

In cherry-blossom-time





No. 76.—*Hanami, or Cherry-Viewing.*\*

リスト番号16

「Japan and its art」( Marcus B. Huish, 1889)

No. 76. Hanami, or cherry-viewing.

〔明治十一年〕四月六日（東京）

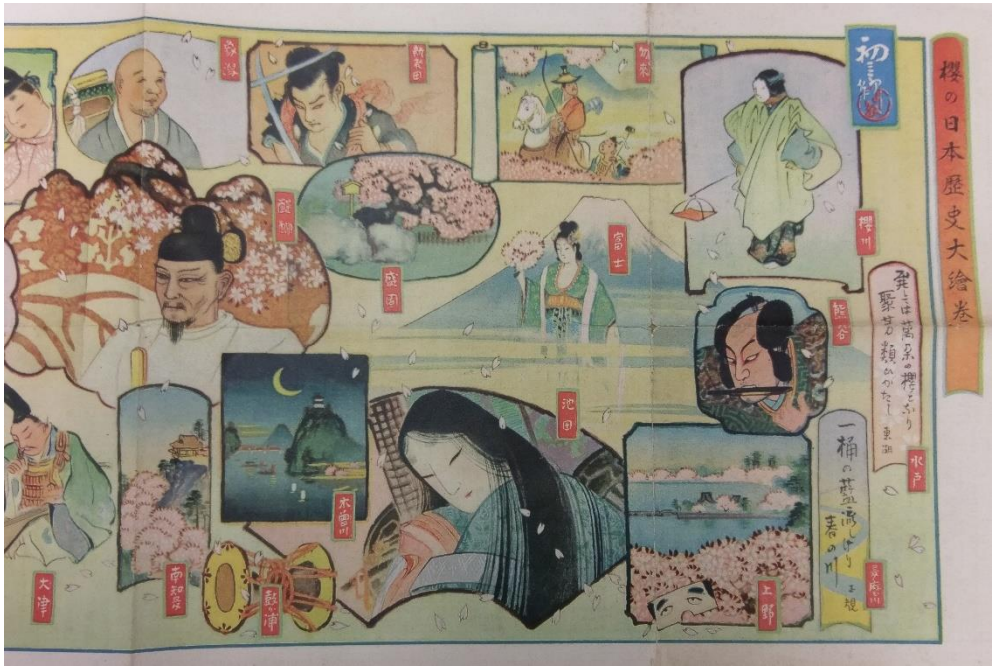
隅田川沿岸の向島へ遠乗りした。ここは今日、民間の祭礼の特徴をあますところなく示している。だいたい散在した村落といってもいいような所だが、川の左岸にあって、かなり水際に接して延びた長い堤によって水害を防いでいる。この堤に桜が植えてある。（中略）まあ、なんというながめだろう！左手には春の太陽に輝く大きい流れと、滑るように走る無数の小舟、頭上にはまったく小枝も見えないほどぎっしり花でおおわれた樹木、足元一帯には色とりどりの人の群。

（『ベルツの日記』注1）

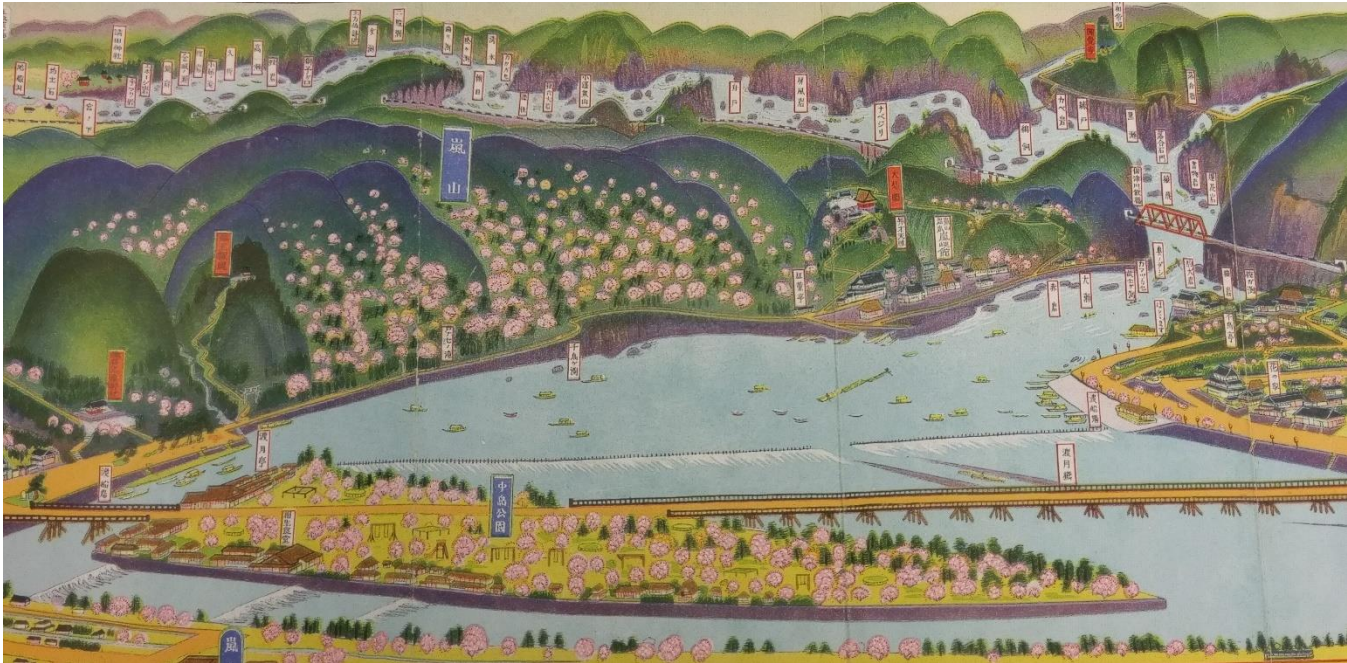


# 初三郎・妖怪

さまざまな町や都市を鳥瞰図にした吉田初三郎の作品の中にも桜に関するものがあります。  
また、日文研が所蔵する戊辰戦争を風刺した絵巻には、桜の妖怪の姿(輪王寺宮)を見ることができます。



リスト番号17  
『櫻の日本歴史大繪巻』(吉田初三郎, 1928)の一部



リスト番号18  
『嵐山・愛宕、保津川下り御案内』(吉田初三郎, 1930)の一部



リスト番号19

『四天王化物蠟燭』(1868)の一部



# 西川祐信

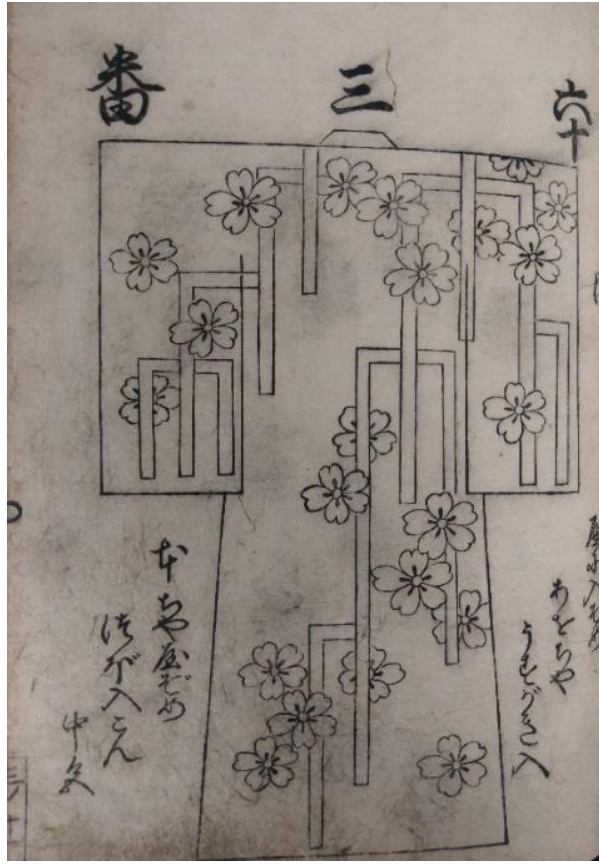
江戸時代の浮世絵師・西川祐信(すけのぶ)。京都で活躍し、絵本・艶本・雛形本を世に送り出しました。同時代の画家から絵の名人と称賛され、後の画家たちにも影響を与えました。繊細で華麗な衣装を描く祐信。今回は、桜の文様を集めました。



いとざくらの  
もやう

リスト番号20-22  
『正徳雛形』(西川祐信作 [画], [1713] 序)  
2, 15, 50番

さくらばな  
つなぎもやう



リスト番号23-24

『正徳雛形』(西川祐信作 [画], [1713] 序)

63, 72番





リスト番号25  
『大開中心好色』下（〔西川祐信画〕, [17-]）



リスト番号26  
『色ひいな形』下（〔西川祐信画〕, [17-]）

注1 『ベルツの日記』〔改訳〕岩波文庫；青(33)-426-1-2,33-426—1-2』上  
（トク・ベルツ編；菅沼竜太郎訳, 1979）.p. 77-78